

第1回 福光地域統合小・中学校設置協議会（会議記録）

【日時】令和8年6月25日（木） 開会：午後6時55分 閉会：午後7時43分

【場所】南砺市役所 別館3階大ホール

【出席委員】得能 金市 委員 井口 一彦 委員 戸成 博宣 委員
酒井 由美子 委員 水口 賢 委員 森田 清仁 委員
高谷 和弘 委員 石黒 裕子 委員 藤田 稔 委員
松井 昌美 委員

【欠席委員】なし

【事務局員】教育長 松本 謙一 教育部長 氏家 智伸
教育総務課長 片田 健一 教育総務課副参事 金谷 諭
教育総務課副主幹 北島 一朗 教育総務課主任 井上 健

【傍聴者】4名

【会議要点】

1 教育長挨拶

2 福光地域統合小・中学校設置協議会の設置について

- (1) 協議会の概要、部会の概要について
- (2) 全体スケジュールについて
- (3) 福光地域統合小・中学校設置協議会設置要綱について

3 組織について

- (1) 委員の委嘱について
 - ・10名に委員を委嘱した。
- (2) 委員長及び副委員長の選出について
 - ・委員長に得能 金市 委員、副委員長に井口 一彦 委員・戸成 博宣 委員をそれぞれ選出した。

4 委員長挨拶 得能委員長

5 協議事項について

- (1) 校名案の選定手順について
 - ・校名案の選定手順について、公募によって選定案を決める方法を教育委員会から提示し、当該案に沿って校名案の選定を進めることで協議会の了承を得た。

6 第2回設置協議会について 令和8年8月下旬に開催

7 副委員長挨拶 井口副委員長、戸成副委員長

【会議記録詳細】

1 教育長挨拶

(教育長)

今年3月に福光地域学校統合検討委員会から提言書が提出され、それを受け、令和10年4月に福光地域に新しい学校を設置することになります。子どもたちが安心して喜んで通えるような学校を作りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いします。

2 福光地域統合小・中学校設置協議会の設置について

(1) 協議会の概要、部会の概要について

資料1に沿って、事務局から協議会の概要及び部会の概要を説明した。

(委員からの質疑応答なし)

(2) 全体スケジュールについて

資料2に沿って、事務局から全体スケジュールの案を説明した。

(委員からの質疑応答なし)

(3) 福光地域統合小・中学校設置協議会設置要綱について

本協議会の概要及び部会の概要をまとめたものが、「福光地域統合小・中学校設置協議会設置要綱」である旨を、事務局から説明した。

(委員からの質疑応答なし)

3 組織について

(1) 委員の委嘱について

資料4に記載している10名を委員に委嘱し、委嘱状を交付した。

(2) 委員長及び副委員長の選出について

委員長及び副委員長の立候補者がいなかったため、教育委員会から、委員長に得能 金市 委員、副委員長に井口 一彦 委員・戸成 博宣 委員を推薦する旨を提案した。

教育委員会の提案に対して委員一同が了承し、委員長に得能 金市 委員、副委員長に井口 一彦 委員・戸成 博宣 委員を選出した。

4 委員長挨拶

(委員長)

民生委員として学校教育関係に50年近く関わり、そのなかで色々な経験をさせていただきました。皆様からご意見をいただきながら、委員一同のベクトルが同じ方向になるように尽力したいと思っております。皆様のご支援をお願い申し上げまして、就任の挨拶といたします。

5 協議事項について

(1) 校名案の選定手順について

(事務局)

今後、各部会でそれぞれの所掌事項を協議いただきますが、校名の決定は、今回の統合の全ての根幹になります。タイトなスケジュールで校名案の選定を進めることになりますが、校名案の候補を決めてから、その選定手順等に対して異議が出ることを避けるため、本日の設置協議会で、校名案を選定する決め方をご承認いただき、それに沿った形で、校名等選定部会で協議を進められるようにしたいと考えております。そこで、校名案を選定する決め方について、教育委員会から提案させていただきます。

校名は地域住民の方々、児童生徒・保護者の方々にとって誇りとなるものであり、学校運営への積極的な参画を促すための中核をなすものです。つきましては、新たな校名案を決めるに当たっては、地域住民や児童生徒、保護者のご意見を反映する「公募型」で進めることを提案いたします。

そして、公募に当たり、校名等選定部会において「校名案の選定基準」、「応募対象者」、「応募フォーム等の様式」の3点について協議し、設置協議会に諮った上で、公募の具体的な方法を決定する流れを考えています。また、校名案の選定基準を先に定めておくことで、多く応募があった校名案をスムーズに精査することができると考えております。

公募の具体的な方法が決まりましたら公募を開始し、募集期間終了後に校名等選定部会において、選定基準に沿って校名案の候補を数点に絞り、設置協議会で校名案を一つに決定するという手順で校名案を選定する方法を提案いたします。

なお、公募はあくまでも、協議の参考資料とするものであり、提案数が多かった校名案を採用するものではない旨を、募集時に明記することを申し添えます。

(A副委員長)

スケジュールの確認です。募集方法を決定した後に、11月に校名等選定部会で校名案を絞り込むことになっていますが、募集期間はどのぐらいを考えていますか。

(事務局)

募集期間は10月中旬又は10月下旬までとする予定です。11月頭には、校名案の候補の選定が開始できる状態になっていることを想定しています。

(委員D)

各部会での協議スケジュールや日程調整にも関わってきますので、各回の設置協議会の開催日の目安があれば教えてください。

(事務局)

基本的には下旬、すなわち、会議を開催する月の20日から31日までの間で、設置協議会を開催できるように調整します。なお、4つの部会で協議していただいたものを確実に設置協議会へ上げるため、部会長同士の連携や、委員長・副委員長の日程を調整しながら進めていきます。開催日は、多少の時期のずれが生じる可能性もありますので、その点をご理解のほどよろしく願います。

(委員E)

南砺市内の子どもの数が想定以上に減っている状況を考えると、これから設置する福光地域の統合校も、どこかのタイミングで再び校名等の再検討が必要になる可能性もあると思います。全てを新しく作るだけでなく、既存の校名や校歌をそのまま残していくという選択肢はあるのでしょうか。

(事務局)

そのような選択肢を作るかどうかを校名等選定部会で協議し、校名案の選定基準の原案を作成いただくことになります。その原案を設置協議会に提案した上で、校名案の選定基準を最終決定することになります。

(委員E)

「統合してできた上平小学校と平中学校も、子どもの数が想定以上の速さで減ったことで、あっという間に五箇山学舎になった」ということを、平・上平地域のPTAの方から聞きました。それを思うと、福光地域でも、我々が今から作る学校や校歌が、数年でなくなる可能性もあるかもしれないと思います。そう考えると、全部を新しくするのではなく、例えば、校歌は今の学校のものを残すなどといった選択肢も、部会で考えていただきたいと個人的には思っています。

(事務局)

協議資料として南砺市内の先行事例等もお示ししますので、それらを踏まえ、部会で方向性を定めていくことになります。

(委員長)

部会で濃い議論をしていただきたいと考えておりますので、ここで制約を設けるのはいかがなものかと思います。部会でしっかりと議論をしていただき、ルールも作った上で設置協議会に上げていただき審議する形にしたいと思います。この場で委員の皆さんにお聞きいただくのは大事なことです、ご意見としてしっかりと承りたいと思います。

それでは、校名案の選定手順については、事務局案のとおりに決定したいと思います、よろしいでしょうか。

(委員一同了承)

6 第2回設置協議会について

事務局から、8月下旬の開催で調整する旨を伝えた。

7 副委員長挨拶

(A副委員長)

部会の皆様や、設置協議会の委員の皆様と十分に協議し、一つ一つのプロセスを丁寧に踏んで決めていくことが大切だと考えております。皆さんが納得できる答えにたどり着くよう、皆さんのご協力を得ながら、務めさせていただきます。

(B副委員長)

未来を担う福光の子どもたちが素晴らしい環境で学べるよう、皆さんとともに知恵を出し合い、良いものを作っていけたらと思っております。今後とも皆さんと力を合わせてやっていきたいと思しますので、よろしくお願いします。